

令和 4 年大磯町議会

9 月定例会総括質疑（9 月 6 日）

質問議員	質 問 事 項
1 8 番 鈴木 京子議員 (40 分) 9:05～9:45	令和 3 年度決算について以下の点について問う。 (1) 新型コロナウイルス感染症対策に係る歳入、歳出の金額と事業内容は予算計上どおりだったか。人件費と令和 4 年度繰越分を含め、問う。 (2) 実質収支比率は望ましいとされる 3～5 % に対し、10.5 % である。不用額とも合わせ、総括を。 (3) 大磯町社会福祉協議会への支出総額と契約内容について、福祉文教常任委員会による令和 4 年 2 月 21 日付、大磯町社会福祉協議会への委託事業等に関する町の指導監督体制についての要望事項はどのようにいかされたか。 (4) 職員の働き方改革の総括は。
2 11 番 高橋 英俊議員 (40 分) 9:45～10:25	財政指標から令和 3 年度決算について問う。 本会議初日において、令和 3 年度における一般会計及び 3 特別会計の歳入歳出決算の認定について、また、下水道事業会計決算の認定についての議案が提出された。 町においては、健全化判断比率及び資金不足比率について監査委員から健全である旨の報告を受けたところである。 私は、その中でも、実質収支比率、経常収支比率、財政力指数、自主財源比率また、財政健全化法に基づく実質公債費比率及び将来負担比率については、財政運営を進めるにあたり、特に注視すべき指標と考えている。 そこで、今回の私の総括質疑は、町においてこれらの財政指標から現在の町の財政状況をどのように分析しているか問う。
3 7 番 奥津 勝子議員 (40 分) 10:40～11:20	令和 3 年度の重点事項について 子育て、教育、健康、経済、安全・安心の事業としての決算実績について、それぞれ町はどう評価しているか。
4 3 番 石川 則男議員 (40 分) 11:20～12:00	令和 3 年度の決算について以下の項目について総括質疑を行う。 (1) 厚生労働省が 8 月 30 日公表した人口動態統計（速報値）によると、2022 年上期（1－6 月）の出生数は 38 万 4,942 人（前年比▲5.0%）と 2000 年以降最も少なく、出生率は 1.3 であった。原因としては未婚化や晩婚化に加え、育児と仕事の両立の難しさが社会問題化し出生率の低下につながったと分析している。大磯町としても令和 3 年度も人口減少対策や子育て対策を行ったと思うが、予算どおりの執行はできたか。また、その成果はあったか。

	(2) 令和3年度末の町債全体の合計と債務負担行為含めて、令和3年度末総額いくらか。その総額が町の負債と考えるが、町はどのように対応していくのか。 (3) 令和3年度、教育関連施設の維持管理は予算どおり執行はできたか。執行する中で早めに修理した方が良いという反省箇所はあったか。
--	---

4 名 4 問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。